

宇和島市地域公共交通活性化協議会

平成20年 6月 2日設置
平成21年 3月25日連携計画策定



概要

平成20年度に策定された宇和島市地域公共交通総合連携計画に基づき、利用者ニーズに即した運行形態の導入と運行体制の整備により、地域に愛される交通網の構築と運行経費縮減を目指して地域住民の生活交通を確保していく。

また、観光振興による新たな交通需要の創出により、宇和島市の観光に対するイメージアップと相乗的にさらなる観光客増加を目指す。

○観光循環バスの実証運行

宇和島市を訪れる観光客の54%が「自家用車」利用であるが、「鉄道」「バス」での移動も多く、市内を「徒歩」で移動する方は、30.9%に上る。

滞在時間の制約から訪問可能な観光施設が限られてしまう可能性があり、観光資源を有効に活用するため、新たな二次交通手段が必要である。

このため、JR宇和島駅から、宇和島城～伊達博物館～道の駅さいや広場などの観光スポットを巡る、市街地の新たな循環バスルートを構築する。

○デマンドタクシーの実証運行

生活交通の確保、また利用者ニーズに即した運行形態の整備を図るため、旧宇和島市西中部地区においてデマンドタクシーを運行する。

検証結果をもとに、市内他エリアでの運行拡大を目指し、可能性・有用性の検証を行う。

